

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>

**警告**

- 本柵は、歩道、自転車専用道路、自転車歩行者専用道路および歩行者専用道路などで、歩行者等の路外への転落防止と、横断防止を目的にした防護柵です。設置の場所・目的に合わせて選択してください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

### <施工の上のご注意>

**注意**

- 製品の改造、変更は絶対に行わないでください。
- 施工中の汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。


### <基礎工事について>

**注意**

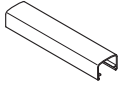
- 基礎寸法は、取付説明書のと通りの寸法にしてください。地盤の種類によっては、倒壊のおそれがあります。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■梱包明細表

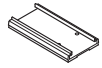






### 【1】 本体セット

名 称	略 図	員 数
本体セット		1

### 【2】 笠木セット

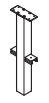
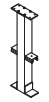
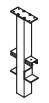
名 称	略 図	員 数
笠木		1

### 【3】 端部笠木キャップセット

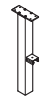

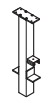

名 称	略 図	員 数
端部バタフライ		※
端部笠木キャップ		※
笠木スリーブ		※
ポスト受け (柱Cのみ)		※
【3-1】 M4×10トラス小ネジ		※
【3-2】 M5×12ナベ小ネジ		※
【3-3】 M5平座金		※

※伝票を確認して、必要数あるか確認してください。

### 【4】 中間柱セット

名 称	略 図	員 数			
		A	B	C	D
中間柱A		1	—	—	—
中間柱B		—	1	—	—
中間柱C		—	—	1	—
中間柱D		—	—	—	1

### 【5】 端部柱セット

名 称	略 図	員 数			
		A	B	C	D
端部柱A		1	—	—	—
端部柱B		—	1	—	—
端部柱C		—	—	1	—
端部柱D		—	—	—	1

[6] コーナー柱セット

名 称	略 図	員 数			
		A	B	C	D
コーナー柱A		1	-	-	-
コーナー柱B		-	1	-	-
コーナー柱C		-	-	1	-
コーナー柱D		-	-	-	1

1. 基本寸法図

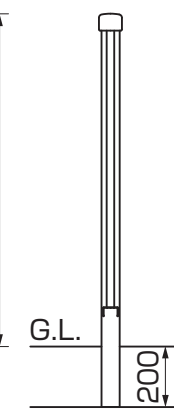
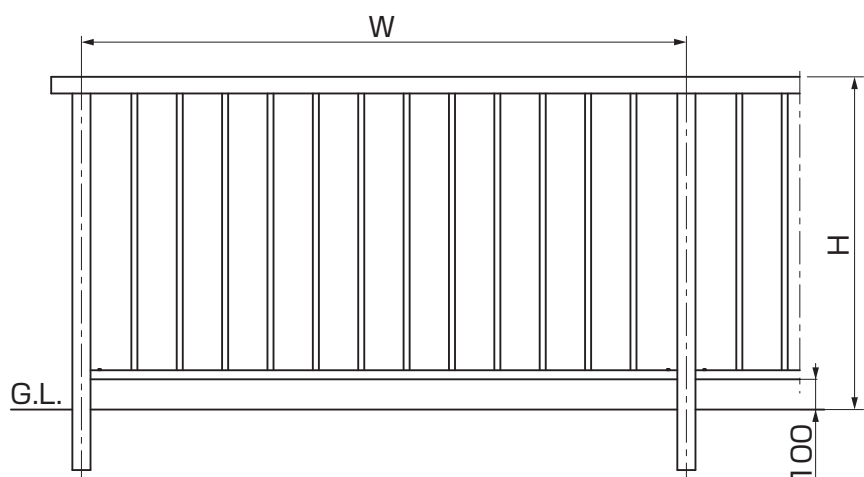


図1-1 A埋込型

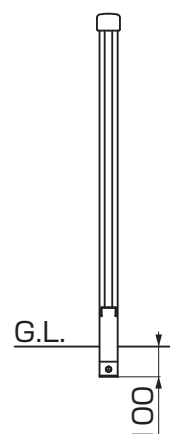


図1-2 Bアンカーアングル型

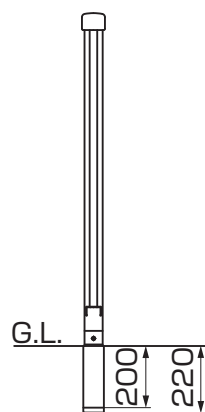


図1-3 C脱着型

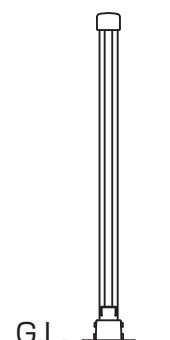


図1-4 Dベースボックス型

表1-1

	H	W
18-9	900	1800
18-11	1100	1800
20-9	900	2000
20-11	1100	2000

## 2. 柱の仮施工

### 2-1 中間・端部柱A (埋込型) の場合

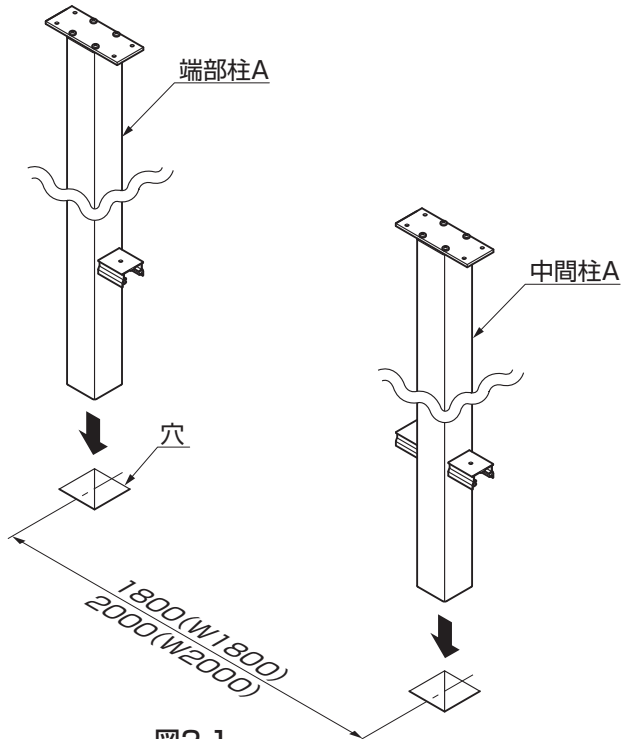


図2-1

①1800ピッチまたは、2000ピッチであけた穴に柱を差込んでください。

#### ポイント

●笠木を組付けるまでコンクリートで固定しないでください。

### 2-2 中間・端部柱B (アンカーアングル型) の場合

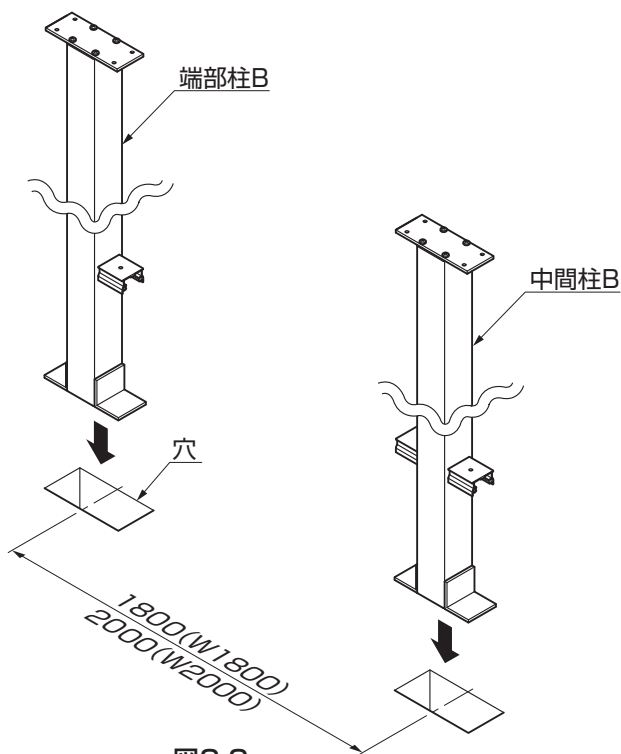


図2-2

①1800ピッチまたは、2000ピッチであけた穴に柱を差込んでください。

#### ポイント

●笠木を組付けるまでコンクリートで固定しないでください。

### 2-3 中間・端部柱C (脱着型) の場合

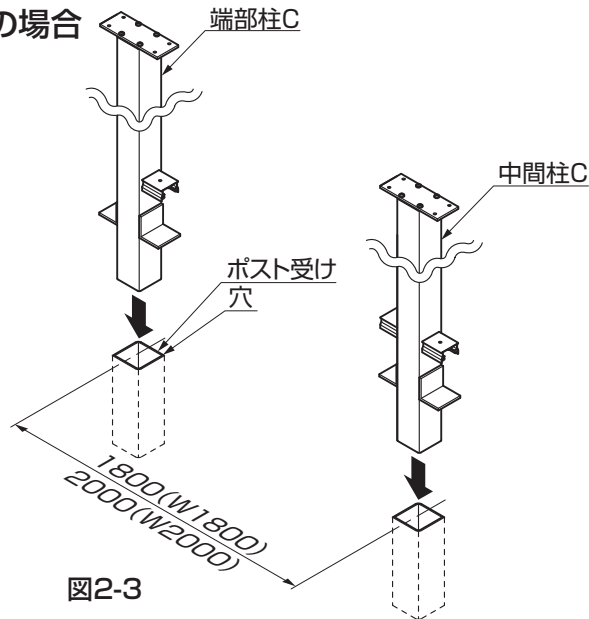


図2-3

- ① 1800ピッチまたは、2000ピッチであけた穴にポスト受けを設置し、コンクリートで固定してください。
- ② コンクリート硬化後、柱をポスト受けに差込んでください。

### 2-4 中間・端部柱D (ベースボックス型) の場合

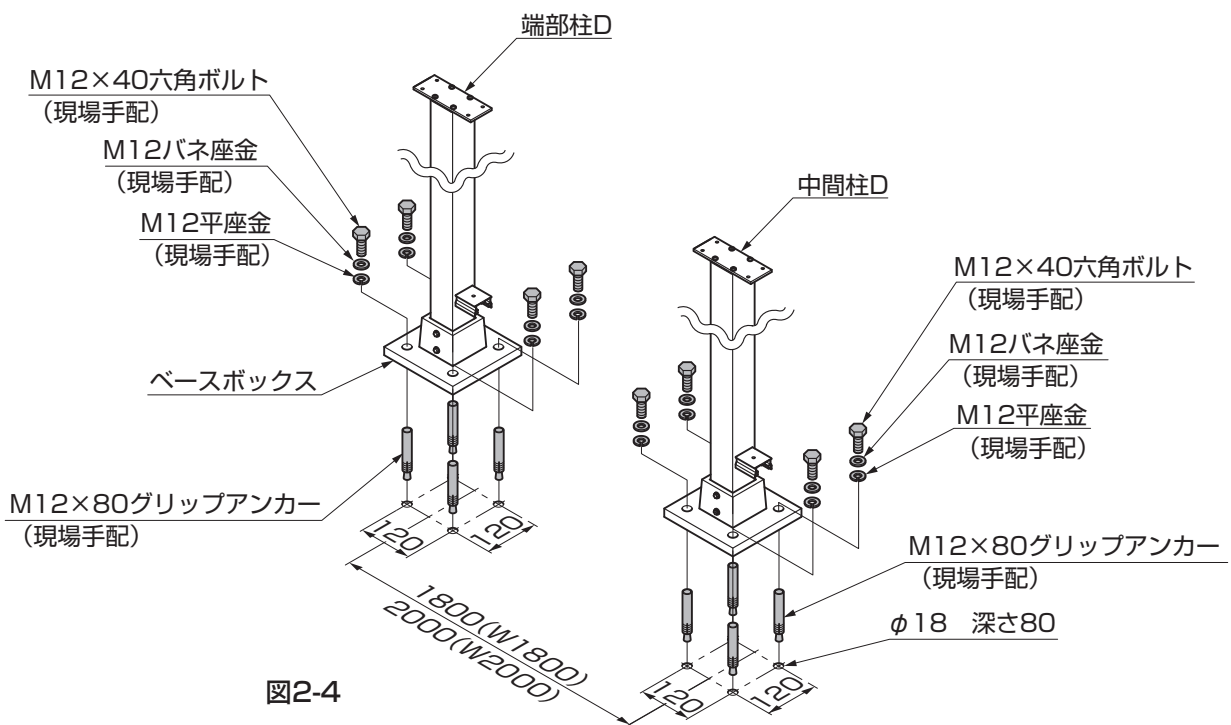


図2-4

- ① 図2-4を参照して、φ18、深さ80の穴をあけてください。
- ② あけた穴に「M12×80グリップアンカー」を差込み、柱を「M12×40六角ボルト」、「M12バネ座金」、「M12平座金」で固定してください。

#### ポイント

- 「M12×80グリップアンカー」、「M12×40六角ボルト」、「M12バネ座金」、「M12平座金」は現場にて手配してください。

## 2. (つづき)

### 2-5 90°コーナー柱の仮施工

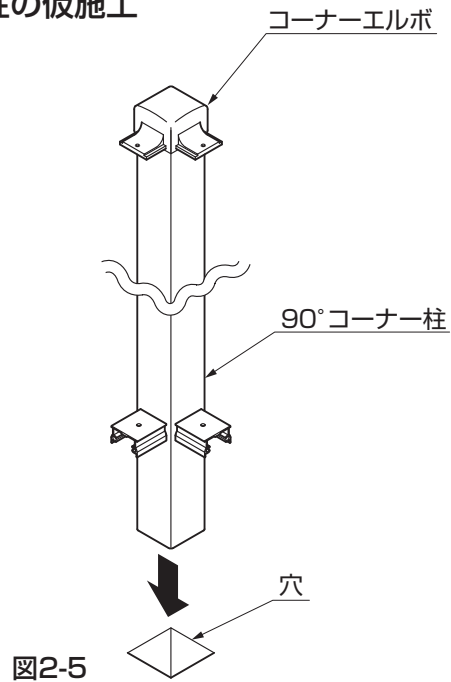


図2-5

① 中間・端部柱と同様にコーナー柱を施工してください。

#### ポイント

● 笠木を組付けるまでコンクリートで固定しないでください。

## 3. 本体の取付け (1) 中間部

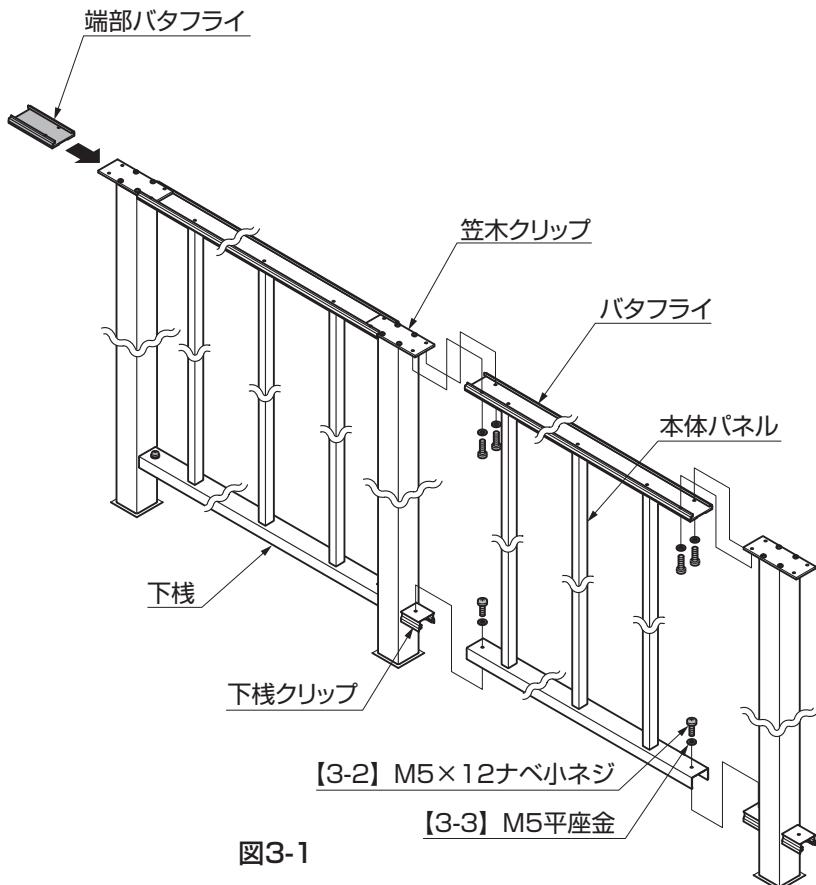


図3-1

① 端部柱から順番に本体パネルのバタフライを笠木クリップに、下棧を下棧クリップに差込んでください。

#### ポイント

● 本体パネルは片側から順番に取付けてください。

② 端部は端部バタフライを笠木クリップに差込んでください。

③ 笠木クリップ、下棧クリップを本体パネルに【3-2】、【3-3】で取付けてください。

#### 補足

● ネジの並びは連続してなくても強度上問題ありません。

## 4. 本体の取付け (2) 90°コーナー柱

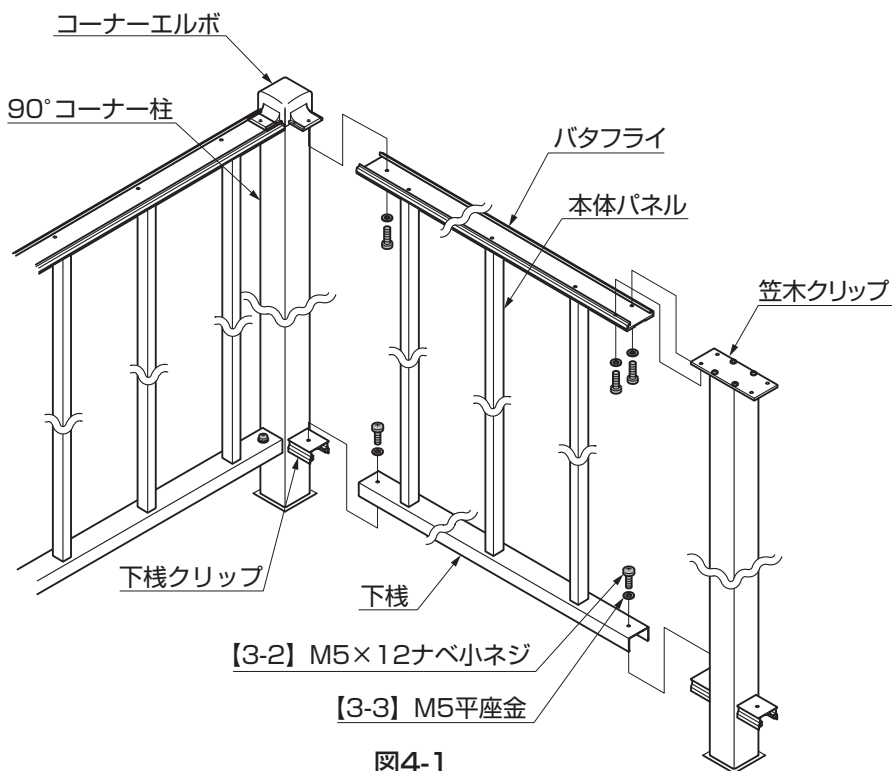


図4-1

- ① 本体パネルのバタフライをコーナーエルボに、下棧を下棧クリップに差込んでください。
- ② コーナーエルボ、下棧クリップを本体パネルに【3-2】、【3-3】で取付けてください。

### ポイント

- 笠木を組付けるまでコンクリートで固定しないでください。

## 5. 笠木の取付け (1) 中間部

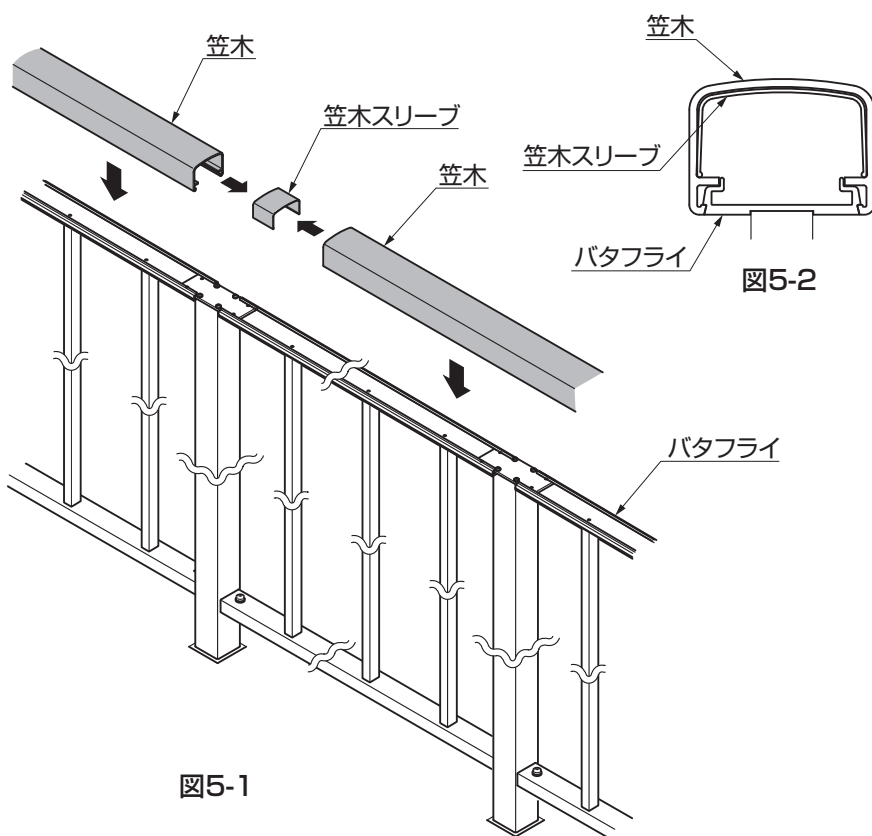


図5-1

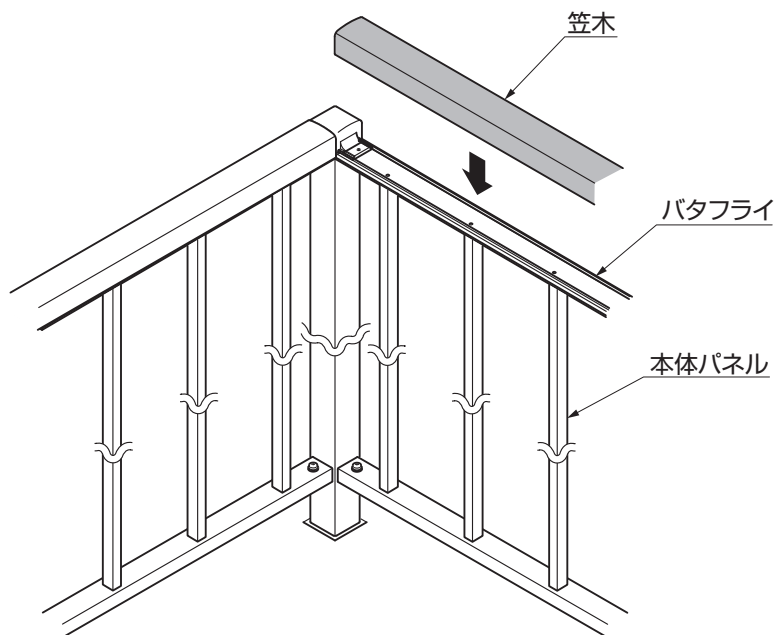
図5-2

- ① 笠木の連結部に笠木スリーブを差込み、バタフライの上へのせ、端部から順にたたき込んでください。
- ② 笠木取付け後、柱をコンクリートで固定してください。

### ポイント

- 笠木とバタフライがしっかりと組付いているか確認してください。(図5-2参照)

## 6. 笠木の取付け (2) 90°コーナ一部



- ①バタフライの上に笠木をのせ、たたき込んでください。
- ②笠木取付け後、柱をコンクリートで固定してください。

## 7. 端部笠木キャップの取付け

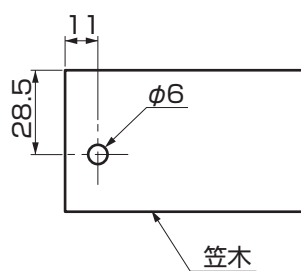


図7-1

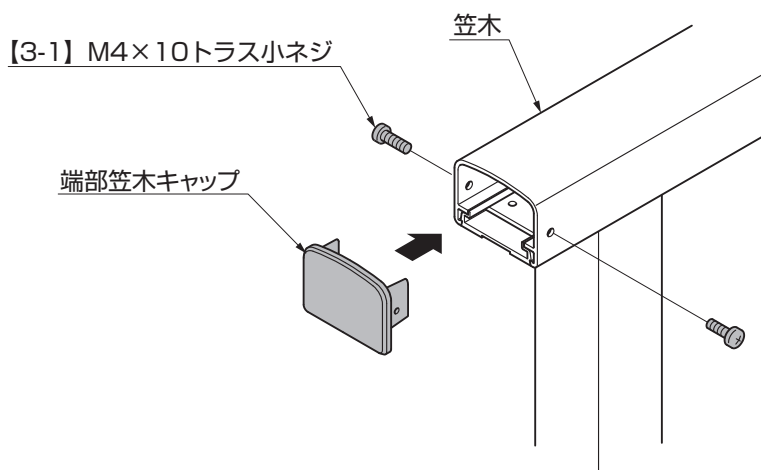


図7-2

- ①図を参照して笠木端部にφ6の穴をあけてください。
- ②端部笠木キャップを【3-1】で取付けてください。

取説コード

**C369**

JZZ615129D  
200708A\_1039  
201607E\_1049